

# 越冬きゅうり栽培への天敵資材導入

## 農場の概要

地域：秩父市吉田地区  
対象作物：きゅうり

## 導入した資材等

- ・天敵 スワルスキーカブリダニ（資材名：スワルスキー）
- ・天敵 リモニカスカブリダニ（資材名：リモニカ）

## 導入の目的・ねらい

越冬栽培のきゅうりハウスでの天敵の定着と  
コナジラミ類・アザミウマ類の抑制効果を確認する。

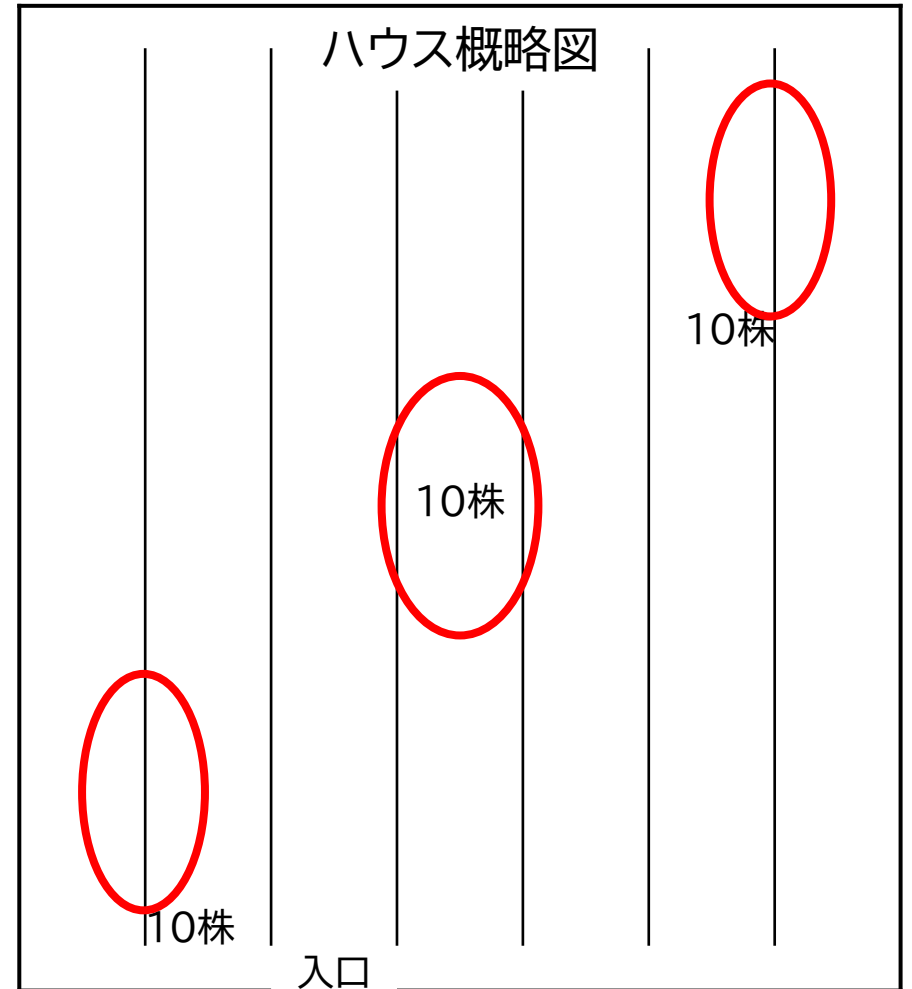
## 試験概要

	試験ハウス
面積	10a（大型4連棟）
品種	ズバリ163
定植日	12月10日
天敵農薬放飼日	1月15日
管理方法	天敵に影響の少ない農薬の利用
その他	ハウス周辺に防草シート設置 防虫ネット設置（白色、0.6mm目）

## 調査概要

- ・右図赤丸部の計30株について、以下の項目を調査した。  
天敵の生息数・害虫の生息数・ウイルス病の発病程度
- ・調査は2週間おきに実施した。

## ハウス概略図



## 結果概要

- 天敵の定着を確認できた
  - アザミウマ類及びコナジラミ類はほとんど発生が見られず、低密度で推移した
  - ウイルス病の発生は確認されなかった
- ⇒越冬栽培においても天敵の活用が可能

令和4年度から令和7年度にかけて行った実証試験により、秩父地域で行われている全栽培形態で、天敵の活用が効果的であることを確認した。

## 生産者コメント

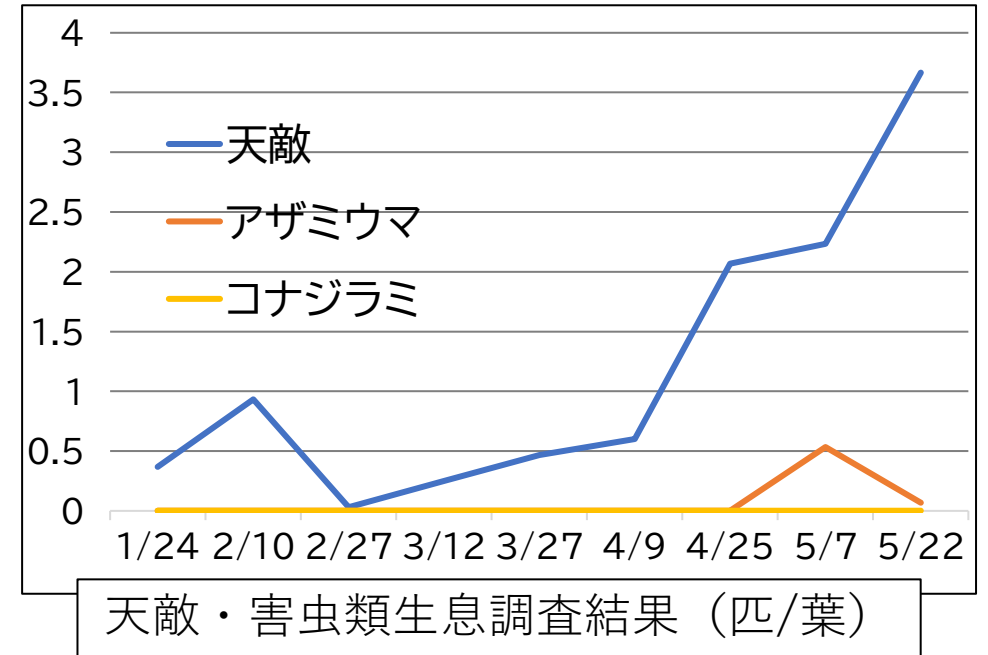
- 農薬散布回数が少なくなったため、省力的に栽培ができた。
- 冬は病害虫の発生が緩やかなので、農薬の制限は気にならなかった。
- 春にアザミウマ類の被害が発生せず、天敵の効果を実感できた。

## 問合せ先

秩父農林振興センター

農業支援部技術普及担当 電話 0494-25-1310

管理部地域支援担当 電話 0494-24-7211



天敵を放飼する生産者